

## 先進医療会議からの指摘事項に対する回答 3

先進医療技術名：粒子線治療（陽子線治療，重粒子線治療）

令和 5 年 1 月 20 日

日本放射線腫瘍学会・理事長

千葉大学大学院医学研究院・画像診断・放射線腫瘍学・宇野 隆

日本放射線腫瘍学会・理事，粒子線治療委員会・委員長

筑波大学・医学医療系・放射線腫瘍学・櫻井英幸

指摘事項 1 及び 2 についてご回答ありがとうございました。具体的にそれぞれの疾患の検討・解析について、いつごろ終了する見込みかが大切な点かと思われました。陽子線治療、重粒子線治療に関して、それぞれの適応症について、お示し頂いたエビデンスの構築を行う場合に、①いつごろまでに解析が終了する見込みで、②いつごろ先進医療会議に結果を報告できるか（具体的な年月など）、お示しいただいてもよろしいでしょうか。

(回答)

ご質問ありがとうございます。

以下、疾患・病態別に解析終了予定および結果報告時期について示します。

適応症	疾患・病態	治療方法	解析終了予定	結果報告
肺・縦隔腫瘍	限局性肺癌	陽子線・重粒子線	2023年度	2023年12月
	局所進行非小細胞肺癌	陽子線・重粒子線	2023年度	2023年12月
	縦隔腫瘍	陽子線	2025年度	2025年12月
消化管腫瘍	局所進行食道癌	陽子線・重粒子線	2023年度	2023年12月
肝胆膵腫瘍	肝細胞癌（保険適応外のもの）	陽子線・重粒子線	2023年度	2023年12月
	胆道癌	陽子線	2023年度	2023年12月
頭頸部腫瘍（脳を含む）	膠芽腫・神経膠腫・髄膜腫・稀な脳腫瘍	陽子線	2025年度	2025年12月
	頭頸部扁平上皮癌	陽子線	2025年度	2025年12月
泌尿器腫瘍	膀胱癌	陽子線	2025年度	2025年12月
	腎癌	陽子線・重粒子線	2025年度	2025年12月
乳腺婦人科腫瘍	局所進行子宮頸癌（巨大扁平上皮癌）	重粒子線	2023年度	2023年12月
	婦人科領域悪性黒色腫	重粒子線	2023年度	2023年12月
転移性腫瘍	転移性肝腫瘍	陽子線・重粒子線	2023年度	2023年12月
	転移性肺腫瘍	陽子線・重粒子線	2023年度	2023年12月
	転移性リンパ節	陽子線・重粒子線	2023年度	2023年12月

肺，食道，子宮，転移性腫瘍など，解析を行う上で十分な症例数が見込まれる疾患・病態に関しては，2023 年内に解析を行い本年 12 月に結果報告する予定といたします。

一方で，縦隔腫瘍，脳腫瘍などの希少疾患，頭頸部扁平上皮癌，泌尿器腫瘍など粒子線治療として希少な病態については，2025 年の報告とさせていただきます。指摘事項 2 において回答いたしました縦隔腫瘍に関しては，モデルベースアプローチを含め今年度可能な限り解析し報告させていただきますが，症例数を確保したうえで 2025 年度に最終結果報告とさせていただきますと幸いです。2025 年報告とした他の疾患についても，2025 年以前に報告すべき解析結果が出ましたら，その段階で報告させていただきます。

以上，指摘事項に対する回答とさせていただきます。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。